



岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和3年5月10日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2021年第17週
(4/26~5/2)

<情報編>

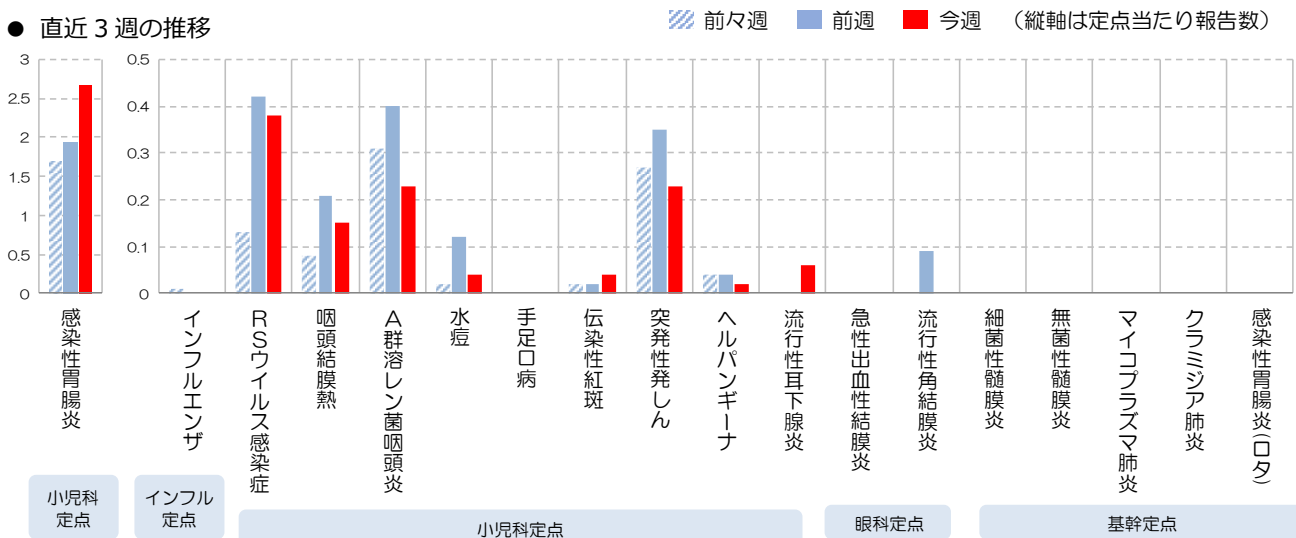
今週の主な動向

- 新型コロナウイルス感染症について、県内での発生報告数が急増しています。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、感染リスクを避けた慎重な行動をお願いいたします。
- RSウイルス感染症について、全国各地で発生報告数が急増しています。岐阜県内でも今後感染者数が増加する恐れがあるため、重症化するリスクの高い小児及び乳児に接する際はご注意ください。
- 県内で感染性胃腸炎の発生報告数が増加しています。予防には、外出後や食事の前、調理の前後など、こまめな石鹸による手洗いが有効です。

定点把握対象疾患

<インフルエンザ定点：87か所、小児科定点：53か所、眼科定点：11か所、基幹定点：5か所>

● 直近3週の推移



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 4例
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例
- 4類感染症：E型肝炎 1例、つつが虫病 1例、レジオネラ症 2例

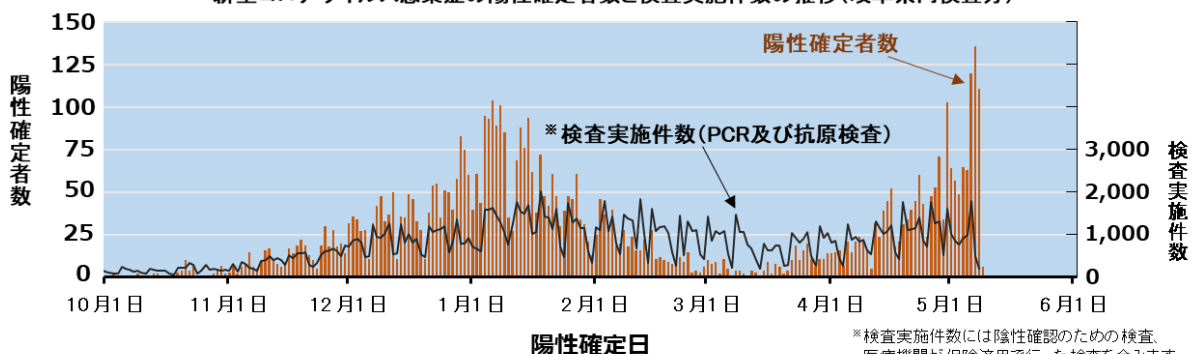
5類感染症：なし

新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 430例 (4/26~5/2(陽性確定日による集計))

トピック：新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症(岐阜県内検査分)について、陽性確定者の総数は6513人(県外居住者94人含む)となりました(令和3年5月9日17:00現在のデータによる)。そのうち近日分のデータをグラフ化すると下記ようになります。

新型コロナウイルス感染症の陽性確定者数と検査実施件数の推移(岐阜県内検査分)



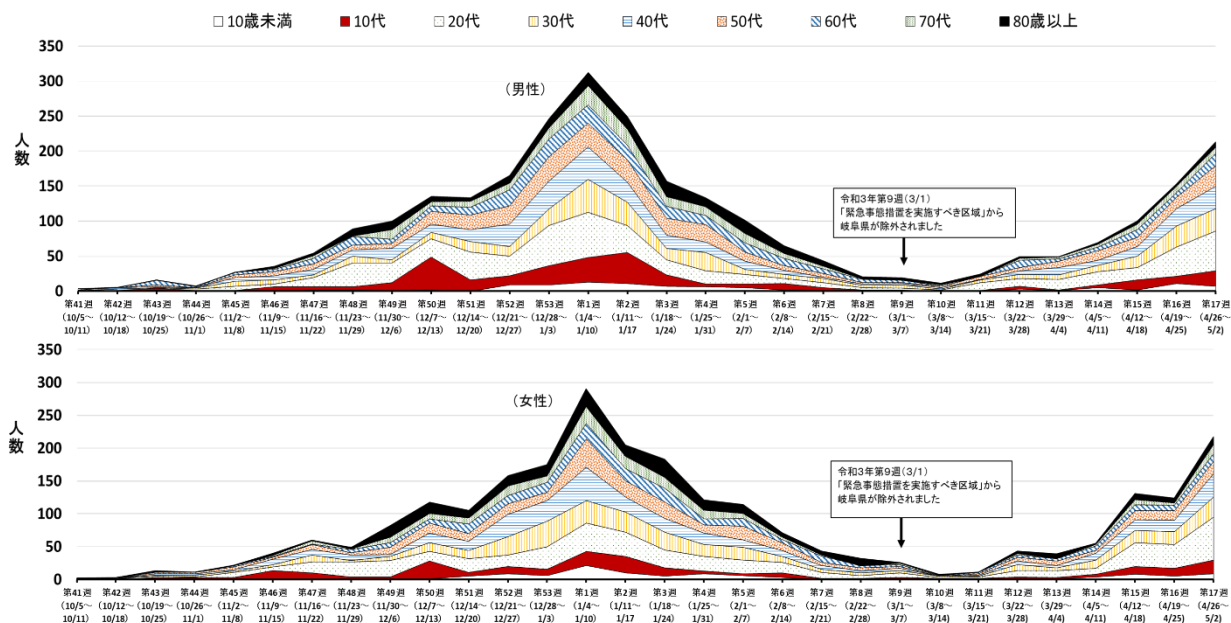
*検査実施件数には陰性確認のための検査、医療機関が保険適用で行った検査を含みます。

<情報編>

令和3年第17週の新型コロナウイルス感染症陽性確定者の報告数は430人であり、前週の277人から急激な増加がみられました。この感染拡大の最大の要因は「変異株」と考えられています。変異株は、これまで流行していた株（既存株）に比べ、1人の感染した人から他の人へ感染させる力が強いことが知られています。岐阜県において流行している新型コロナウイルスも、従来の既存株から変異株へと急速に置き換わりつつあると考えられます。変異株は感染力が強だけでなく、重症化するリスクも高いとの指摘もされています。

岐阜県ではこの変異株の脅威から皆様を守るため、4月26日に県独自の「第4波」非常事態宣言を発出し、さらに国から「まん延防止等重点措置」区域への指定を受け、5月9日から対象となる16市町への対策を強化してまいります。県民の皆様にはなおご不便をおかけすることになりますが、これ以上の感染拡大を防ぐため、密閉・密集・密接（3密）の条件を避けること、マスクを着用すること、手洗いの習慣化を基本とし、感染拡大エリアとの往來の回避や多人数での長時間に及ぶ会食を避けるなど、対策へのご協力をお願いいたします。

第3波後の岐阜県における陽性確定者発生数の推移(週別・年代別)



(参考) 岐阜県 HP 「新型コロナウイルス感染症【県内の感染動向】」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/26547.html>

(参考) 岐阜県 HP 「まん延防止等重点措置区域の指定を受けて」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/150950.html>

(参考) 岐阜県 HP 「岐阜県 新型コロナウイルス感染症に関する情報」

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/covid19/>

(参考) 内閣官房 HP 「新型コロナウイルス感染症 まん延防止等重点措置」

<https://corona.go.jp/emergency/>

※令和2年10月29日、厚生労働省は新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況と、これまでに得られた科学的知見について、新たに10の知識としてとりまとめました。この中には、新型コロナウイルス感染症対策分科会から10月23日に提言された『感染リスクが高まる「5つの場面」』についても記載されています。また、新型コロナウイルスの変異についての解説も追加されました。

・「(2021年3月時点) 新型コロナウイルス感染症の“いま”についての11の知識」厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/content/000749530.pdf>

※ 感染予防と感染拡大防止のための対策として、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。発熱や咳などの症状がある場合は外出を控え、また日常においても不要不急の外出を控えましょう。

これまでのデータから、集団感染が起こりやすいのは以下の条件がそろった時との報告がされています。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人々が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）

このことから、感染のリスクを低減させるためには、これら3つの密が重なる条件（3密）を避けることが重要です。